

3. 川づくりの基本理念

「悠久の流れに 人と豊かな自然が織り成す 杉かおる 米代川」

米代川の河川整備は、洪水や濁水から人々の生活を守り、豊かな自然環境とその風土に培われた河川文化の継承や、人々が集い個性あふれる地域の形成を目指し、以下の5つを柱に計画を策定します。

安全・安心の川づくり

米代川では古くから洪水被害に見舞われている一方、濁水も発生しています。記録として正確に残っている大規模な洪水としては昭和47年7月に、全川にわたり氾濫し甚大な被害が発生しました。それに反し翌年の昭和48年7月には記録的な濁水となり各地で被害が生じています。このような水害や濁水の歴史を踏まえ、水害や濁水被害の少ない安全で安心できる川づくりを目指します。



昭和47年7月洪水(二ツ井町)



昭和55年4月洪水(二ツ井町)

豊かな自然を次世代に引き継ぐ川づくり

米代川は豊かな自然環境に恵まれており、動植物の生息・生育の場となっているとともに、河畔林等は河川景観としても良好な景観形成の要因のひとつとなっています。豊かな自然環境や良好な河川景観を次の世代に引き継ぐ川づくりを目指します。



米代川の河畔林(45.0k付近)



代表的な景勝地(31.6k付近)

豊かな暮らしを支える川づくり

米代川では自然豊かな河川環境を活かし、能代市の「^{しゃち}鯰流し」や大館市の「大文字まつり」、各地の河原での「なべっこ」など伝統的な行事が行われているとともに、釣りやスポーツ、散策など様々な河川利用が行われています。このような人々と米代川との関わりを踏まえ、子供からお年寄りまで快適に水辺空間に親しむことができる川づくりを目指します。



伝統行事である能代市の鯰流し



河原でのなべっこ

地域の活性化に寄与する川づくり

米代川では全国から訪れるアユやサクラマス等の釣り客や今後の利用者の増加が見込まれるカヌーなどによる観光振興が期待されています。また、地場産業である農業の振興のため、水の安定供給が重要となっています。そのため、これらを支え地域の活性化に寄与する川づくりを目指します。



アユ釣りの太公望



カヌーによる川下り

なべっこ：河原等で行う鍋で、秋の収穫を歓ぶ行事。

住民参加と地域連携による川づくり

米代川では、地域と川との関わりが深まりつつあります。今後も地域のニーズを的確に把握し、地域の人々と協働して川づくりを進めていくため、米代川を通じた連携と交流を図り、地域で育む川づくりを目指します。



住民によるクリーンアップ



河川愛護モニターとの意見交換